

前橋空襲爆撃照準点マンホール等を設置し完成披露会を実施します

前橋空襲で米軍のターゲットとなった「爆撃照準点」にマンホールを設置します。

また、これに併せて、爆撃照準点の説明板と、きゅうちょうめい くわまち「桑町」の案内板を設置します。

1 概要

爆撃照準点マンホールは、中心商店街の中央通りの丁字路にある下水道用のマンホールを交換する形で設置し、説明板、案内板については、丁字路近くのグリーンウォークのエントランス壁面に掲示します。

2 設置のいきさつ

本事業は、歴史まちづくり計画の「ヒストリックランドマーク整備事業」の一環であるとともに、今後開館を予定している「（仮称）前橋空襲と復興資料館」の関連事業です。

事業を実施するにあたり、一般財団法人ぐんま食と歴史文化財団の助成金を活用しました。

3 完成披露会

設置に合わせ、完成披露会を行います。

- (1) 日時 11月30日(土) 午前10時から
- (2) 場所 中央通りグリーンウォーク付近
- (3) 内容
 - ・爆撃照準点マンホール及び説明板、桑町案内板のお披露目
 - ・安全祈願を目的とした、マンホールへの打ち水の儀
 - ・群馬地域学研究所代表理事・手島仁さんによる解説

4 今後の展開

ヒストリックランドマーク整備事業については、一部の既存道路案内板を活用し、旧町名案内板として改修を進めていく予定です。

担当 都市計画課
景観・歴史まちづくり係
電話 027-898-6974（内線：3977）

桑町

くわまち

前橋空襲爆撃照準点マンホール等の設置について

前橋空襲の爆撃照準点

爆撃照準点とは

- 米軍が爆撃地点を指定する際に、いくつもの区画で同時に火災が発生するような地点を指定し、そこを目掛けて空爆を行ったとされ、その地点を爆撃照準点(又は爆撃中心点)と呼ぶ。
- 日本全国では65都市にあるとされ、仙台市には銘板、長岡市には碑が設けられている。
- 本市では、「前橋空襲と復興資料館検討委員会」における検討の結果、中央通りの丁字路付近であるとされた。
(右図のとおり)



デザインと設置箇所

